

# 令和7年度県高校総体兼全国東海高校総体県予選柔道競技 試合要項

## 《A》団体戦

### 参加資格

1. 岐阜県高等学校体育連盟加盟校であり、県柔道協会団体登録校であること。
2. 学校長の出場認知のある者。
3. 平成18年4月2日以降に生まれた者。(4月2日を起算とし、19歳未満の者。)ただし、同一学年での出場は1回限りとし、高等専門学校については第3学年までの者に限る。
4. 転校後6カ月未満の者は参加できない。ただし、一家転住の場合を除く。
5. 全日制・定時制の混成チームの出場は認めない。

### チーム編成

1. 男子チームは監督1名、選手5名、補欠1名、計7名をもって編成し1校1チームとする。女子チームは監督1名、選手3名、補欠1名、計5名をもって編成し1校1チームとする。配列は自由とする。
2. 選手に事故があった場合は補欠と交替することができる。ただし、順位を変えることはできない。また一度交代した選手は再びその一連の試合に出場することはできない。
3. 申し込みをした生徒を退けて他の者を充当することは原則として認めない。ただし、試合開始前の監督会議に申し出た者に限り、監督会議で可否を決定する。この場合、その生徒について学校長の出場認知書を必要とし、1名を限度とする。

### 試合方法

1. 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。学校対抗点取り試合で、トーナメント戦で実施する。
2. 試合時間は4分とする。
3. 優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「僅差」以上とする。  
※「僅差」は指導差2とする。
4. チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦に得点がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い必ず勝敗を決する。  
※延長戦における判定基準は「有効」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
5. ベスト8に進出した学校にのみ敗者復活戦を併用する。ただし、敗者復活戦において本戦と同じ対戦になった場合は、本戦の結果を利用する。

### その他

1. 優勝校は全国大会へ、上位4校は東海大会への出場権を得る。
2. 補助生徒を各学校(チーム)とも1名出すこと。
3. 県大会出場校は、下記の要領でオーダー表を作成し、大会当日持参すること。  
※男子はA4またはB5版の用紙7枚に、学校名、6名の選手名を記入する。  
※女子はA4またはB5版の用紙4枚に、学校名、3名の選手名を記入する。

## 《B》個人戦

### 参加資格

1. 岐阜県高等学校体育連盟加盟校であり、県柔道協会団体登録校の生徒であること。
2. 学校長の出場認知のある者。
3. 平成18年4月2日以降に生まれた者。(4月2日を起算とし、19歳未満の者。)ただし、同一学年での出場は1回限りとし、高等専門学校については第3学年までの者に限る。
4. 転校後6カ月未満の者は参加できない。ただし、一家転住の場合を除く。
5. スーパーシード選手(令和5年度県高校新人柔道大会各階級上位2名)または本大会の地区予選に出場した者であること。ただし、スーパーシード選手は地区予選を免除する。

### 体重区分

[男子]	60 kg級	66 kg級	73 kg級	81 kg級	90 kg級	100 kg級	100 kg超級
[女子]	48 kg級	52 kg級	57 kg級	63 kg級	70 kg級	78 kg級	78 kg超級

### 試合方法

1. 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。体重別試合とし、トーナメント戦とする。
2. 試合時間は4分とする。
3. 優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「僅差」以上とする。  
※「僅差」は指導差2とする。  
技による評価が同等の場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い勝敗を決する。  
※延長戦における判定基準は「有効」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。

### その他

1. 男女個人戦の各階級優勝者は全国大会へ、上位2名は東海大会へに出場権を得る。